

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2020年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項によって実施する。

2. 変更および招集について

- (1) 選手変更および当日エントリーは、一切認めない。
- (2) 招集所は、競技場内北側用器具倉庫付近に設ける。
- (3) 招集完了時刻は、その競技開始時刻を基準とし、トラック競技は20分前、フィールド競技は30分前で完了する。
- (4) リレー競走の出場チームは、当該競技の招集完了時刻の60分前までに、所定のリレーオーダー用紙に走順および監督署名をし、競技者係（招集所）に提出すること。また、リレーオーダー提出後は必ず、招集完了時刻までに招集完了手続きを完了すること。
- (5) 同一人が2種目以上同時に兼ねて出場し、競技時刻が重複する場合はあらかじめ競技者係に申し出て、その許可を得るとともに重複している種目の競技役員（主任）に申し出て、指示により行動すること。
- (6) 招集完了時刻に遅れた競技者（チーム）は棄権したものとみなす。

3. アスリートビブス（登録番号）について

- (1) アスリートビブスは各自で作成のうえ、競技中は胸・背にはっきり見えるようにつけなければならない。
なお、跳躍競技の競技者は、胸または背につけるだけでよい。
- (2) アスリートビブスは競技役員に確認出来るよう正確に記入すること。アスリートビブスの無い者は出場させない。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、招集受付時に写真判定用腰ナンバーカードを受け取り、所定の位置に取り付け、競技終了後フィニッシュライン付近で競技役員に必ず返却すること。男子4×400mの第2および第3走者は、腰ナンバーカードを左腰に取り付ける。

4. 練習場所について

- (1) ウォーミングアップについては、トラック全周レーンを使う種目（400m等）が行われていない時間帯に限り、バックストレート側のみにおいて使用できる。
- (2) 投てき競技の練習は、危険防止のため空き地での練習は禁止とする。
- (3) 必ず、選手はウォーミングアップ等の行動が競技ならびに審判の妨げにならないように注意すること。

5. 競技用具等について

- (1) スパイクシューズのピンの長さは、走高跳およびやり投は12mm以下、その他の種目は7mm以下とする。
- (2) 競技用具は主催者側で用意したものを使用する。ただし、個人の所有の競技用具の使用を希望する者は、検定を受けて合格したものに限り使用を認める。
- (3) ワールドアスレティックス規則第143条（テクニカルルール第5条）のルール再改訂において、日本国内での適用について（2020年8月15日付）を適用する。

6. 競技について

- (1) トラック競技のレーンおよびフィールド競技の競技順はプログラムの記載順とする。
- (2) スタートコールはイングリッシュコマンドで行う（「オン・ユア・マークス」、「Set : セット」）。
- (3) 不正スタートをした競技者は、1回で失格とする（競技規則第162条8）。
- (4) 走高跳および棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。ただし、天候の状況等により審判長判断で変更する場合もある。
走高跳（男子）1m60(練習) 1m65 - 1m70 - 1m75 - 1m80 - 以降+3cm
（女子）1m30(練習) 1m35 - 1m40 - 1m45 - 1m50 - 以降+3cm
棒高跳（男子）3m20(練習) 3m40 - 3m60 - 3m80 - 4m00 - 以降+10cm
（女子）2m00(練習) 2m20 - 2m40 - 2m60 - 2m80 - 以降+10cm
- (5) 競技者が残り1名になった場合のバーの上げ方は本人の意思により決定する。
- (6) 第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。
- (7) 走幅跳、三段跳および投てき競技の対抗戦の試技は5回とする。
- (8) 三段跳の踏切板は、砂場から男子11m、女子9m地点に設置する。
- (9) フィールド種目のオープン参加で走高跳および棒高跳以外の試技は3回とする。

7. 得点および表彰について

- (1) 得点は対抗種目別8点制とする。
- (2) 表彰は対抗種目（個人）は第1位から第3位まで、団体対抗は総合、男子および女子の各部を表彰する。

8. 抗議・上訴について

発表された結果に対する抗議は、競技規則第146条に定められた時間内に、競技者本人または代理人から総務員を通じて審判長に対して口頭で行う。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金を添え、総務員を通じて文書で申し出ること。

9. その他

- (1) 天候・出場人数およびその他の状況により競技開始時刻・組編成等の変更をする場合もある。その際は、アナウンスにて連絡をする。
- (2) プログラム記載事項に訂正がある場合は、競技者本人もしくは代理人が大会本部に申し出ること。
- (3) 本競技会に関わるすべての人に対し、競技中に発生した傷病・疾病についての応急処置は主催者側で行うが、以後の責任は一切負わない。また、競技会に関わるすべての人の感染に対するいかなる責任を主催者は一切負わない。
- (4) 貴重品類等の管理は各自の責任において管理すること。紛失・盗難等にあっても主催者側は責任は一切負わない。